

ジシカ平沢

一九八一年八月三〇日

一二時、下降開始。ジシカ平沢は、大谷地沢と違って、顕著な滝はない。苦労することなく下降を続け、四〇分で大谷地沢との合流点まで下って

しまった。
 「タイム」 尾根(一二:〇〇) ↓ 大谷地沢出合(一二:四〇) ↓ 滑谷奥沢出合(一三:〇〇)

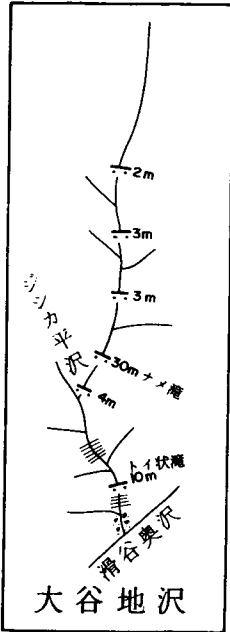
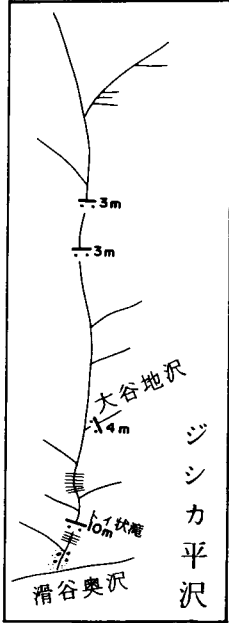
大谷地沢

一九八一年八月三〇日

九時五〇分、大谷地沢に入る。最

初は河原状、続いて滑谷沢本流上流

「タイム」 大谷地沢出合(九:五〇)



部のような青みがかったナメ床が続く。しばらくナメ床を遡ると、一六一びピークから派生している尾根によって沢が二分されている。右が大谷地沢、左がジシカ平沢である。大谷地沢に入る。出だしの四びの滝は左岸に登る。すると沢は左に曲がり、正面に三〇びのナメ滝を落している。

これを越すと、小さな滝がいくつか現れるが、まもなく水が溜れる。左側にヤブをこいで、先ほど分かれたジシカ平沢の下降に移る。

(記)